

実践団体情報

記入日	2018年12月28日（2018年度のチャレンジプラン）
実践団体名	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
代表者名	山本 仁
プラン全体のタイトル	地域の人と楽しみながら取り組む防災学習
電話番号	076-263-5551
メールアドレス	Futoku1964@ml.kanazawa-u.ac.jp
実践団体の説明	<p>本校は、知的障害がある児童生徒を対象とした、小、中、高等部、計60名定員の大学附属の特別支援学校である。日本三名園の一つ兼六園に隣接し、市街地でありながら自然環境に恵まれた古い街並みに立地する。そのため、学校周辺の道路は狭く、近隣には高齢者が多い。また、森本・富樫断層帯から1kmの場所であり、有事には震度6強の揺れが想定されている。平成27年度から学校と保護者会が連携して、防災学習の導入、緊急時の連絡体制や児童生徒の引き渡し、防災リュックの準備等に取り組んでいる。平成29年度には金沢市の指定避難所となった。</p> <p>防災学習の取り組みや地域との連携が課題となっている。</p>
所属メンバー	<p>（代表）校長 山本 仁</p> <p>（担当）教頭 下野令子</p> <p>育友会長 高瀬 博</p>
活動地域	金沢市味噌蔵地区（金沢市東兼六町、小将町他）
活動開始時期・結成時期	2018年4月
過去の活動履歴・受賞歴	<p>2016年度 PTA 活動優秀賞（全国附属学校 PTA 連合会）</p> <p>2018年度 地球温暖化防止優良活動表彰銀賞（石川県）</p> <p>2018年度 優良 PTA 表彰（石川県教育委員会）</p>
プラン全体の概要	<p>小中高等部それぞれの発達段階に応じて、一年を通じて防災学習に取り組む。その際、新学習指導要領に示される学習活動・指導法の改善や学校地域協働活動を取り入れ、知的障害がある児童生徒が学ぶ楽しさを感じ、能動的に活動に取り組むと同時に、他者に伝える・伝え合うことを通して学びを深める防災学習の在り方を探求する。取り組んだ活動を整理し次年度の教育課程に防災学習を位置づける。</p> <p>また、防災研修会や防災学習を通じて学校・保護者と地域とのつながりを作ると共に、児童生徒、教員、保護者、地域住民の防災意識を高める。</p>

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	学習活動年間計画作成 避難訓練等実施計画作成		通年で生活単元学習、特別活動、総合的学習等で防災学習を実施 所在不明児搜索訓練実施
5月			避難訓練実施（土砂災害） 児童生徒引き渡し訓練実施 集団下校練習実施
6月	防災講演会・研修会の企画	学校防災委員会開催	
7月		生徒会の活動内容計画準備	避難訓練実施（地震）
8月		講演会講師、防災アドバイザーとの連絡調整 防災講演会・研修会準備	
9月			学校・育友会共催による防災講演会及び研修会を実施（地域住民参加） 防災センターで災害体験（地域住民との協働活動）を実施。（高等部）
12月	授業（高等部）企画構想	ゲストティーチャーとの打ち合わせ 生徒会活動内容計画準備	ゲストティーチャー招聘 「災害と避難所生活について」の授業（高等部） 避難訓練（火災）
1月	授業（高等部）企画構想	ゲストティーチャー、地域住民との打ち合わせ	災害食の調理実習（地域住民との協働活動）（高等部）
2月			ゲストティーチャー招聘

プラン全体の反省点・課題・感想	全部で52の単元（題材）の防災学習を実施した。また、活動を通して児童生徒の防災に関する実態把握ができた。学校・育友会・地域住民が連携して防災研修会を実施できたが、地域への周知が不十分だった。
今後の活動予定	防災学習については、取り組んだ活動を整理し、次年度の教育課程に位置づける。学校・育友会・地域住民が連携した防災研修会を再度実施する。

実践したプランの内容と成果

記入日	2019年1月7日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
実践番号	1
タイトル	地域の人と楽しみながら取り組む防災学習
実践担当者のお名前	廣島幸子、谷真理子、柳生美由季

実践にかかった金額	ほぼ0円
実践の準備にかかった時間	通年
実践活動を実施した日時	2018年4月10日～2019年2月28日
実践の所要時間	小学部 生活単元学習、特別活動、体育等 中学部 生活単元学習、特別活動、総合的な学習の時間等 高等部、総合的な学習の時間、特別活動等
実践の運営側で動いた人の人数	34人
防災教育の対象者の属性	小学生・中学生・高校生・保護者/PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	約70人
実践を行った都道府県と市区町村	石川県金沢市
実践を行った具体的な場所	金沢大学附属特別支援学校、学校周辺地域、金沢大学附属幼稚園
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	

達成目標	災害や防災について知る。 安全に気をつけ、身を守る方法を身につける。 地域の方との交流を深める。	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	かなり

実践内容・方法

発達段階や障害の状況、現在の教育課程、学校地域協働活動の推進、新学習指導要領に示される学び方改善、それぞれの観点を踏まえ、各学級で防災学習に取り組んだ。その際、災害の恐ろしさだけを伝えないようにする。具体的で体感できる活動を準備する。楽しく学習する。特に中学部・高等部においては地域の方と協働し「伝える・伝え合う」喜びを感じられるようにする。などに留意した。

〈実施結果（災害種別）表〉

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校

学級ごとの防災学習実施結果（災害種別）表

学年	学級	実施内容	実施方法	実施結果	実施内容	実施結果
小学部	小学部各学級	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）
中学部	中学部各学級	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）
高等部	高等部各学級	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）	防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り） 防災学習（防災グッズ作り）

〈防災学習実施カード〉

実施した活動をカードにまとめ、今後の参考資料とした。

防災学習実施カード

学年（活動）名	防災学習（防災グッズ作り）
教科・領域・形態等	生活単元学習
目標（科あて）	・防災グッズは災害が起こったときに自分の命を守るために使うことを知る。 ・防災グッズの中身を知る（種類・必要量、あとどれくらい持つ） ・新聞紙やびく紙を使って、食器や道具などの防災グッズを作ることができる。
活動内容（配時）	第一次：防災グッズを作ってみよう（3時間） 第二次：防災グッズを作ってみよう（4時間）
活動の様子（前後貼付け）	新聞紙で食器・お風呂用グッズ作り びく紙で防災グッズ作り まとめ・展示物の作成 
改善点	・新聞紙の防災グッズをより詳しく作りたかったので、作り方を覚えるまでに足らなかった。作るものを紙で、紙を貼って作り方を覚えるのと良い。 ・食器は家庭の調理実習で作ったものを食べるのに使いましたが、その際のグッズも同様で、実際に必要ら環境で使ってもらいたい。

防災学習実施カード

学年（活動）名	防災学習（防災グッズ作り）
教科・領域・形態等	生活単元学習
目標（科あて）	・新聞紙やびく紙を使い、紙を貼って防災グッズを作り、活用できる。 ・段ボールや紙糊を使い、食器に防災グッズを作ることを覚える。 ・防災グッズを自分で調理し、食べることができる。
活動内容（配時）	第一次：サバイバル生活～準備編～（4時間） 第二次：サバイバル生活～実践編～（3時間）
活動の様子（前後貼付け）	サバイバル生活（準備編）の様子 サバイバル生活（実践編）の様子 
改善点	・防災用品の活用はまだ身についていなかった。何度も練習が必要。 ・分からないときに自分で確認することができるよう、食器にもこれまでの学習の成果を写真などで提示しておく。

得られた成果	発達段階や障害の状況に応じて、災害やその防災についての関心が高まり、自分の身を守る知識や技能を身につけることができた。また、中学部と高等部においては地域の方との交流が深まり、地域の方からの評価で自己有用感が高まった。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦勞・工夫	それぞれの学部、教員の取り組みを評価、整理し授業改善を行うと共に次年度教育課程に位置づける必要がある。地域住民との協働活動は調整が大変であるが、生徒の有用感やコミュニケーション力を高める上で有効であると同時に地域社会に開かれた教育課程・学校の実現に向けて重要な活動であると改めて認識した。	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	特別支援学校
伝えたい内容	防災学習の実践事例

実践したプランの内容と成果

記入日	2019年1月7日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
実践番号	2
タイトル	「地域の方と防災センターへ行こう」 (高等部 総合的な学習の時間)
実践担当者のお名前	柳生美由季

実践にかかった金額	10万円未満
実践の準備にかかった時間	1週間
実践活動を実施した日時	2018年9月19日 9時～15時
実践の所要時間	6時間
実践の運営側で動いた人の人数	5人
防災教育の対象者の属性	高校生・保護者/PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	約44人
実践を行った都道府県と市区町村	富山県富山市
実践を行った具体的な場所	富山県広域消防防センター 四季防災館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	センター職員

達成目標	具体的な体験を通じて災害について理解を深める。 地域の方との協働活動を通じて交流を深めると共に、互いに知ったことを伝え合う。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	かなり

実践内容・方法	<p>地域の方と協働活動を行うにあたり、生徒が地域住民と防災について話し合うことができるように以下の事前学習を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間をかけて災害についての知識を得るための学習を行った。 <p>その際、能動的な活動となるよう総合的な学習時間に取り組んだり、写真や動画等の視覚的情報や ICT 機器を活用したりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との出会いの場を設定し、一緒に防災について学ぶ人がどのような人たちか知ると共に地域について学習した。 <p>防災センターでは、地域の方と生徒が混在するグループを作り、体験した災害を話し合えるようにした。</p> <p>また、地域の方にアンケートを記入していただき、その結果を基に生徒が学習内容の理解、地域協働の観点で振り返りを行った。</p>	
得られた成果	<p>実際に災害を疑似体験したことや地域の方と学んだことを伝え合ったことで、災害についての知識が深まり防災に対する意識が高まった。また、地域の方との交流が深まり、地域の方に学校との連携の必要性をこれまで以上に考えていただけた。</p>	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	かなり
	学びに向かう力・人間性	かなり
課題・苦勞・工夫	<p>学校外部の方との活動は日程調整が難しい。かなり早い段階から計画し調整する必要がある。</p> <p>後日振り返りを行ったが、日程的に可能であれば、即日地域の方との意見交換による振り返りを行った方が良かった。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	富山県広域消防防災センター
関係者の説明	各災害と体験の方法について
関係者の連絡先	076-429-9961

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	学校、地域
伝えたい内容	近年、災害体験ができる施設が増えているので有効に活用したい。

実践したプランの内容と成果

記入日	2019年1月7日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
実践番号	3
タイトル	「避難所で私たちができること」 (高等部 総合的な学習の時間)
実践担当者のお名前	柳生美由季

実践にかかった金額	1万円未満
実践の準備にかかった時間	1週間
実践活動を実施した日時	2018年12月14日 9時40分～10時40分
実践の所要時間	1時間
実践の運営側で動いた人の人数	3人
防災教育の対象者の属性	高校生
防災教育の対象者の人数	約26人
実践を行った都道府県と市区町村	
実践を行った具体的な場所	金沢大学附属特別支援学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	石川県災害ボランティア協会

達成目標	避難所の実際について知る。	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	かなり
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>高等部生徒がゲストティーチャーから、大規模災害時の避難所の様子について話を聞いた。</p> <p>避難所生活を送る上で大変なことや大切なことその他、災害に対して準備しておくことを知るようにした。</p> <p>講演後に生徒同士で意見交換をしたり、アンケートによる振り返りを行うことで理解を深めたりした。</p> 	
<p>得られた成果</p>	<p>避難所についての理解を深めることで、日ごろから何を準備しておけば良いか知ることができた。また、避難所で自分たちができることについて考えることができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>少し</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>少し</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>生徒の知的障害の状況が異なるために、生徒が講演内容を理解するための個別支援や補助教材の準備が難しい。</p> <p>活動内容に対する丁寧な生徒の実態把握とチームティーチング計画が必要。</p>	

実践したプランの内容と成果

記入日	2019年1月7日(2018年度のチャレンジプラン)
実践団体名	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校
実践番号	4
タイトル	防災講演会「その日のためにできること」及び防災研修会 (学校・育友会共催)
実践担当者のお名前	山本 仁

実践にかかった金額	ほぼ0円
実践の準備にかかった時間	1日
実践活動を実施した日時	2018年9月1日 10時～15時
実践の所要時間	5時間
実践の運営側で動いた人の人数	10人
防災教育の対象者の属性	教員・保護者/PTA・地域住民
防災教育の対象者の人数	約80人
実践を行った都道府県と市区町村	石川県金沢市東兼六町
実践を行った具体的な場所	金沢大学附属特別支援学校校舎・体育館
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	研究者、防災アドバイザー

達成目標	森本富樫断層地震が起きた際の学校所在地域の被害と備えについて知る。 学校の備蓄品の内容や機器の利用の仕方を知る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	少し
	学びに向かう力・人間性	少し

<p>実践内容・方法</p>	<p>県の学校防災アドバイザーや市の防災アドバイザーに就いている大学研究者に、自分たちが住む地域の状況について講演していただいた。 一般的な災害の話ではなかったため、参加者は自分事として考えることができた。</p> <p>学校の備蓄品を利用した研修会は以下の内容で行った。 パックドッグ（牛乳パックを燃やしてホットドッグを作る）、災害食で昼食を取る。</p> <p>簡易トイレ、テントの組み立て、発電機の始動、をしたりした。ワークショップ形式の研修会は参加者も能動的に参加し、自然と交流も深まった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	
<p>得られた成果</p>	<p>自分たちが住む地域が発災時にどのような状況になるかリアリティを持って知ることができ、参加者の防災に対する関心が高まった。 地域住民に学校との連携の必要性を感じていただくことができた。</p>	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>かなり</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>かなり</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>かなり</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>地域住民への事前の周知や行政との連携が十分でなかった。 地域町会への働きかけや市の危機管理室との連携を深める必要がある。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金沢大学准教授 青木賢人先生</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>森本富樫断層地震による金沢市の被害状況と防災について</p>
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>チャレンジプラン実行委員会派遣防災アドバイザー 瀧川猛先生</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>これまでの被災地の状況や防災に必要なこと</p>

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	学校、地域
伝えたい内容	日頃から学校と地域が協働し、協力関係を作っておく必要がある。